

# ひふみのあゆみ



ひふみワールド 追加型投信/海外/株式

## 2021年2月度月次ご報告書

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ  
資産形成のパートナーに「ひふみワールド」をお選びいただき、ありがとうございます。  
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2021年2月26日

### 運用実績

#### 基準価額等の推移（日次）



※当レポートで言う基準価額とは「ひふみワールド」の一万口あたりの値段のことで、また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

※「ひふみワールド」は、ひふみワールドマザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は「株式・投資証券」「為替」や「基準価額変動額」と合わない場合があります。「株式・投資証券」のうち、米国には米ドル建て、欧州にはユーロ、イギリス・ポンド、スウェーデン・クローナ建て、アジア・オセアニアには香港ドル建て等の株式・投資証券が含まれます。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

#### 運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみワールド	3.67%	10.87%	16.96%	41.33%	-	43.01%

#### ひふみワールドの運用状況

基準価額	14,301円
純資産総額	245.92億円
受益権総口数	17,196,397,322口

#### ひふみワールド 投資信託財産の構成

ひふみワールドマザーファンド	99.79%
現金等	0.21%
合計	100.00%

#### 基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次） +506円

〔内訳〕

株式・投資証券	+288円
米国	+217円
欧州	+23円
アジア・オセアニア	+48円
その他	+0円
為替	+236円
米ドル	+169円
ユーロ	+18円
香港ドル	+20円
その他	+29円
信託報酬・その他	-18円

#### 分配の推移（1万口当たり、税引前）

第2期	2021年2月	0円
第1期	2020年2月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

※後述の「当資料のご留意点」を必ずご覧ください

## 資産配分比率などの状況

### ひふみワールドマザーファンドの状況

純資産総額 1,362.51億円

組み入れ銘柄数 124銘柄

### 資産配分比率

海外株式 89.61%

海外投資証券 1.44%

現金等 8.95%

合計 100.00%

### 時価総額別比率

10兆円以上 18.96%

1兆円以上10兆円未満 55.37%

3,000億円以上1兆円未満 14.51%

3,000億円未満 2.20%

### 組み入れ上位10カ国 比率

1 アメリカ 59.78%

2 中国 11.06%

3 フランス 3.48%

4 スウェーデン 2.57%

5 ドイツ 2.54%

6 イギリス 2.14%

7 台湾 1.85%

8 香港 1.77%

9 アイルランド 1.60%

10 カナダ 1.33%

### 組み入れ上位10通貨 比率

1 米ドル 67.88%

2 香港ドル 8.29%

3 ユーロ 6.53%

4 台湾ドル 1.85%

5 中国元 1.81%

6 スウェーデン・クローナ 1.30%

7 イギリス・ポンド 1.27%

8 ノルウェー・クローネ 1.10%

9 オーストラリア・ドル 0.87%

10 フィリピン・ペソ 0.16%

### 組み入れ上位10業種 比率

1 ソフトウェア・サービス 14.43%

2 資本財 10.23%

3 各種金融 8.82%

4 メディア・娯楽 7.97%

5 小売 7.22%

6 半導体・半導体製造装置 7.05%

7 消費者サービス 4.05%

8 自動車・自動車部品 3.76%

9 食品・飲料・タバコ 3.46%

10 耐久消費財・アパレル 3.33%

※「資産配分比率」「時価総額別比率」「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10通貨比率」「組み入れ上位10業種比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「時価総額別比率」は基準日時点のBloombergの情報を元に作成しております。

※「組み入れ上位10カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」は株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。



## 銘柄紹介（基準日時点の組入比率1~10位）

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
		銘柄紹介			
1	BILIBILI INC. 	中国	米ドル	メディア・娯楽	1.89%
		中国の動画サイト。アニメ、コミック、ゲームなどのコンテンツ（ACG）や動画配信システムは若者に大人気。今後、若者のプラットフォームとしてコンテンツのジャンルがさらに多様化することで、広告などの収入増が期待される。			
2	ACCENTURE PLC 	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.60%
		コンサルティングサービス会社。経営・技術に関するコンサルティングサービスおよびソリューションを提供。世界中の各業種を対象とした特殊技術とソリューションに従事。			
3	FIRST REPUBLIC BANK 	アメリカ	米ドル	銀行	1.53%
		米国の地方銀行。顧客層を富裕層の個人に絞っており、堅調な米国住宅市場を背景に残高成長率も高い他、リレーションシップマネージャーが長期間かけて構築した良質な関係を背景に資産運用事業も新たな成長ドライバーとなるなど、低成長に喘ぐ銀行セクターでは珍しい成長企業。			
4	GENERAL MOTORS COMPANY 	アメリカ	米ドル	自動車・自動車部品	1.51%
		米国の自動車メーカー。SUVやピックアップトラック等、アメリカ人好みの大型車を得意とする他、電気自動車の開発についても米系自動車メーカーでは最も経験を積んでおり、将来的な対策も万全。			
5	GENERAC HOLDINGS INC. 	アメリカ	米ドル	資本財	1.46%
		家庭用発電機メーカー。米国の災害に弱く、停電を頻発させる脆弱な電力網を背景に、緊急時のバックアップ電源を家庭向けに販売している。			
6	TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED 	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.43%
		半導体製品設計・製造会社。アナログICおよび組み込みプロセッサを開発。世界各地で事業を展開。			
7	MICROSOFT CORPORATION 	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.41%
		「地球上のすべての個人とすべての組織が、より多くのことを達成できるようにする」というミッションを掲げる世界最大のソフトウェア会社。働き方改革やIoT社会の実現に向け、PCを動かす基本ソフト（OS）の世界シェア首位の同社がカギを握る。			
8	VIVENDI S.A. 	フランス	ユーロ	メディア・娯楽	1.37%
		フランスの総合メディア企業であり、音楽、ケーブルテレビ、ゲーム、広告代理店事業など幅広く保有する。特に音楽は三大レーベルの1社であるUniversal Musicを保有しておりストリーミングの普及拡大による成長加速が期待される。			
9	NVIDIA CORPORATION 	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.30%
		画像処理装置(GPU)の世界的大手。引き続きゲーム用途や映像制作でも高い成長が見込める他にも、自動運転などに利用される画像の自動認識やAIなどへの用途拡大により成長率の高まりが期待される。			
10	SITEONE LANDSCAPE SUPPLY, INC. 	アメリカ	米ドル	資本財	1.30%
		造園業者向けの造園用品販売会社。野外照明、肥料、草の種子、芝生ケア用器具等を米国とカナダ全土で販売し、充実した品揃えを背景に中小の販売会社からシェアを奪い店舗数の拡大を伴って成長している。			

※国は原則として発行国を表示しています。なお、国には地域が含まれます。

※業種は原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しています。

※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

ご参考：市場動向

MSCI ACWI ex JAPAN(配当込み)(米ドルベース)の推移



当月騰落率 +1.98%

米ドル/円の推移



当月騰落率 +1.69%

ユーロ/円の推移



当月騰落率 +2.11%

香港ドル/円の推移



当月騰落率 +1.63%

※MSCI ACWI ex JAPAN（配当込み）はBloombergのデータを元に作成しております。なお、MSCI ACWI ex JAPANの当月騰落率は、基準価額への反映を考慮して、月末前営業日の指数値を基に算出しております。

※MSCI ACWI ex JAPANは当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。なお、MSCI ACWI ex JAPANは配当込みで、米ドルベースです。

MSCI ACWI ex JAPANは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国、新興国の株式を対象として算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値（TTM）です。



2月のひふみワールドの基準価額は、前月末比3.67%の上昇となりました。

2021年初頭から堅調に推移していた世界の株式市場は、急上昇した米国長期金利に警戒感を抱いた投資家が過熱感のある株式売却を急いだことから、月末にかけ大幅調整となりました。これまで米国市場を牽引したDX、半導体関連が利食われ、対照的に業績不透明感から低バリュエーションとなっていたホテル、航空機、石油&ガス、金融などが買われました。ひふみワールドでは、DX、半導体関連などテクノロジー銘柄へ投資すると同時に旅行、金融、石油関連銘柄へも投資し、それぞれ継続保有しています。昨年末にかけバリュエーションが急拡大していたテクノロジー関連への追加投資には慎重姿勢で臨んでいますが、生活様式の変容から生まれ急成長した製品、サービスは、これまでと違った環境を必要としたり楽しんだりする消費者から継続的に支持されると考えています。

春節明け後に大幅上昇していた中国市場も、米国長期金利上昇の影響で月末にかけ大幅調整となりました。新型コロナウイルス感染者数が大幅に減少し、心配された春節も無事に乗り切れたことに投資家は安堵していますが、急ピッチで上昇した株式市場には警戒感が広がっていました。

欧州市場も米国追加景気対策期待で上昇していましたが、月末にかけて調整となりました。米国金利の上昇は景気回復の先取り要素もあり、一概に株式市場にマイナスとはなりませんでしたが。景気回復は中長期的に企業収益を後押しし、結果、高くなったバリュエーションの調整につながります。ワクチン接種が各国で進み、経済活動が徐々に正常化されるかを注視しています。

今後も、お客様からお預かりした大切な資産を、世の中をよくする一助となる成長企業へ継続して投資をするため、私たちレオス、運用本部一丸となって邁進してまいります。ひふみワールドをよろしくお願いたします。



代表取締役副社長  
運用本部長  
未来戦略部長  
ひふみワールド運用責任者  
湯浅 光裕

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみワールドマザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみワールドマザーファンド」のことを「ひふみワールド」と略する場合があります。



## 年後半に向けて世界的株高の主役交代へ

## カギ握る米大規模対策とコロナワクチン普及

世界の新型コロナウイルスの新規感染者数が鎮静化に向かい、ワクチンの普及が進展する中で、米国では2月27日に「1.9兆ドル（GDP比9%）の大規模なコロナ救済計画法案」が下院で可決されました。バイデン政権は上院の審議を経て3月中旬をメドに成立を目指しています。市場ではこの大規模対策が共和党の反対からそのままではまとまらず、大幅な減額が避けられないとみていました。2021年の米国経済に対して多くのエコノミストは実質GDP成長率を5%程度（強気派で6%台）と予想していますが、コロナワクチンの普及進展（集団免疫獲得期待）下で、1.9兆ドルの大規模対策がまとまると、米経済見通しの上方修正に拍車がかかりそうです。世界経済も年後半に向けて回復が鮮明化しそうです。

足元の米国経済をみますと、トランプ政権下で昨年末に成立した0.9兆ドルの追加経済対策によって、家計は現金給付や失業保険加算などで所得が増大していますが、コロナ禍の制限措置などで消費に重石がかかった状況です。そのため、貯蓄率が異常に上昇し、いわば過剰貯蓄を抱え、待機消費のマグマが滞留しています。ここに1.9兆ドルの大規模対策でさらに所得環境が好転し、新型コロナウイルスの集団免疫獲得期待が強まると、4～6月期以降の米国景気や物価は大幅に上振れし、企業収益面でも上方修正に弾みがつきそうです。

一方、米国をはじめ主要国の金融政策面では、3月会合で大規模緩和の継続（政策の現状維持）が決まりそうです。日銀は「点検」結果を公表予定ですが、現行の政策枠組みを基本的に継続するとみられますが、ETFの買入れ減額を狙った資産買入れ策の「柔軟化」が打ち出されそうです（例えば、金額と時期を事前に明示せず必要に応じ買入れる方式）。4～6月期以降の主要国の金融政策は、米国を筆頭に経済の上振れを反映する動きが出てきそうです。経済の正常化次第ですが、市場ではこれまで予想していたテーパリング（資産買入れ額の縮小・停止）や利上げの時期に関して前倒し観測の動きが強まりそうです。

主要国の長期金利は米国主導で昨年末以降、ワクチン普及や大規模対策を織り込む形で上昇基調にあります。上記のような環境を想定しますと4～6月期以降も上昇基調が継続しそうです。ただし、米10年国債の期待実質金利（＝名目金利－期待インフレ率）は上昇基調にあります。引き続きマイナス域にあり、金融環境面では歴史的な「超緩和」が継続していると評価されます（米国の経済や株式市場にとって支援効果大です）。

コロナ禍で、主要国株価は2020年3月下旬をボトムにV字型回復・上昇相場を辿ってきました。これまでの世界的株高の原動力は大規模金融緩和や過剰（緩和）マネーなどによる「PERの拡大」に負うところが大きかったと評価されますが、今後、経済の回復・拡大が鮮明化する中で、「業績（EPS）の拡大」が株高の主役に替わっていくとみられます。米国株を筆頭にいわば「実体の好転を買う業績相場」の色彩が強まっていくとみられます。世界的な物色面では、耐久消費財や資本財、市況関連などの「景気敏感株」が業績安定感の強い「ディフェンシブ株」に対して優位化しそうです。また、金利の上昇傾向は総じて金融株にポジティブな一方、公共・公益株（利回り株）には重石になりそうです。金利の急上昇は株価の波乱要因になりがちですが、業績（EPS）拡大下で米10年国債の期待実質金利がマイナス域にある局面では、米国株筆頭に主要国株価は大勢、強気相場が継続すると予想されます。

(3月3日)

## 資産形成応援団

資産形成応援団とは、直販で5年以上保有いただいているひふみワールドについて、信託報酬の一部を当社がお客様に還元することにより、信託報酬を実質的に割り引く、という日本で初めて導入された仕組みです。



5年以上、または10年以上継続して保有されている受益権口数に対して応援金を還元いたします（受益権とはひふみワールドをご購入いただいたお客様が、ひふみワールドの利益を受けることができる権利のことです。）。

応援金還元率は受益権口数に係る資産残高の年率0.1%（5年以上分）、0.25%（10年以上分）です。応援金は、新たにひふみワールドを買付ける資金に充当いたします（原則として、現金のまま、お渡しすることはありません。）。

## 新YouTubeチャンネルリリース！



# お金のまなびば!

ENERGY = ownership × time × money × decision × luck

『お金のまなびば!』では、「資本市場を通じて社会に貢献します」という当社の経営理念を元に、お金に対する考え方や、投資、経済について、わかりやすく楽しく学んでいただけるコンテンツを配信しています。

チャンネルを通じてお金や投資が世の中でどのような役割を果たしているのかを身近に感じ、安心して資産形成に取り組めるよう、またひふみのブランドコンセプトでもある、「次のゆたかさ」を発見していただけるようなチャンネルにしていまいりますので、ぜひチャンネル登録で継続してご覧ください！



## ひふみワールドの特色

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

## ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

### 投資リスク

#### ■ 基準価額の変動要因

- マザーファンドを通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。

- 投資信託は預貯金等とは異なります。

#### ■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられ、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。
カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や市場の需給等に混乱が生じた場合、その影響を受け損失を被るリスクがあります。なお、エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大 きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

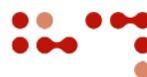
### 収益分配金の仕組みについて

- 収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があります。
- 収益分配金支払い後の基準価額が、そのお客様（受益者）の個別元本と同額の場合または上回っている場合には、当該収益分配金の全額が「普通分配金」となります。普通分配金は、配当所得として課税対象になります。
- 収益分配金支払い後の基準価額がそのお客様（受益者）の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が「元本払戻金（特別分配金）」となります。当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額は普通分配金となります。  
元本払戻金（特別分配金）は、実質的に元本の一部払い戻しとみなされ、非課税扱いとなります。お客様が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、その後の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

### ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
受託会社：(ひふみワールド)三菱UFJ信託銀行株式会社  
(ひふみ投信)三井住友信託銀行株式会社  
販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

### 各ファンドについてのお問い合わせ先



RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークス株式会社  
コミュニケーション・センター  
電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp  
受付時間：(2020年4月6日より) 営業日の10時～16時  
ウェブサイト：<https://www.rheos.jp/>

## お申込メモ

	ひふみワールド	ひふみ投信（ご参考）
商品分類	追加型投信／海外／株式	追加型投信／内外／株式
当初設定日	2019年10月8日	2008年10月1日
信託期間	無期限	
決算日	毎年2月15日（休業日の場合、翌営業日）	毎年9月30日（休業日の場合、翌営業日）
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。	
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。	
購入価額	ご購入のお申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）	
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。	
換金（解約）単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。	
換金価額	解約の請求受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）	
換金代金	解約の請求受付日から起算して5営業日目から支払われます。	
購入・換金 申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。	—
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。	
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。	

## お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみワールド	ひふみ投信（ご参考）
運用管理費用 （信託報酬）	信託財産の日々の純資産総額に対して <b>年率1.628%（税込）</b> を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して <b>年率1.078%（税込）</b> を乗じて得た額
	信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。	
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）を乗じて得た額。（なお、上限を年間99万円（税込）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。）	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）を乗じて得た額。（なお、上限を年間88万円（税込）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。）
	日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。	
その他費用・ 手数料	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法を具体的に記載することはできません。	

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり金利や相場等の変動により、元本欠損が生じる可能性があります。預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありませんが、証券会社を通じてご購入いただいた場合は投資者保護基金の保護対象となります。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行いません。また、金融商品の案内、説明等はあくまでお客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものではありません。